

第5回新たな交流拠点検討委員会の議題

資料 1

- 本日の議題は以下の①～⑤とします。

回	時期	議題	協議内容（討議ポイント）
第5回	R8年5月22日 10時半～	① 整備コンセプトの修正案 ② モデルプランの修正案 ③ 年間利用日数の見込み ④ フロア面積規模の設定	<ul style="list-style-type: none">• 整備コンセプト及びモデルプランの修正案を踏まえ、施設計画で要件設定すべき事項に対する意見• 整備コンセプトや利用用途を踏まえた年間利用日数の設定内容に対する意見• 利用用途の視点から最低限要件設定すべきフロア面積規模に対する意見

案件(1) 整備コンセプトの修正案について

(1) 第4回新たな交流拠点検討委員会でのご発言内容

- R8.3.16に開催した第4回新たな交流拠点検討委員会において、次のような発言があったことから、整備コンセプトの一部表現内容について修正します。

整備コンセプトがコンセッションやトップチームのホームアリーナを前提とした表現になっている印象を受けた。今後、サウンディング調査結果も反映するのであれば、社会体育施設としての位置付けや公的な機能についても明記する必要があると考える。例えば、新たなまちの集客機能が打ち出されているが、まずはまちの交流機能を重視し、その上で多様なビジネスや集客が生まれていくという順序もあり得るはずである。また、フェーズフリーや防災機能といった公的機能も含まれるだろう。今後、整備コンセプトについては、よりバランスの取れた内容に調整されていくべきだと考える。

➡ 「集客から交流」ではなく、「交流から活気」へ

スポーツ振興の本質は子どもから高齢者、障がい者まで誰もが日常的にスポーツや文化に触れ、コミュニティを形成しながら豊かな生活を送ることにあると考える。そのためには、アリーナの整備だけでなく、市としてスポーツを通じた交流や地域コミュニティの形成を推進するという視点が不可欠である。そのためには、学校体育館を地域体育館へと役割を転換し、部活動だけでなく、子どもや地域の大人も一緒に活動できる総合型クラブとして機能させ、市民の生活圏でスポーツ活動ができる仕組みを構築することが重要である。

➡ 「インクルーシブ」の視点を追加

(2) 整備コンセプト（修正案） ※黄色マーカーが変更部分

- 基本理念と基本方針を踏まえ、施設における具体的な整備の方向性を示す整備コンセプト（修正案）を作成しました。

過年度検討

基本理念 ※施設の根幹となる理想や考え方を示すもの

"ヒト・モノ・コトをつなぐハブ"（結節点）としての多目的アリーナ

基本方針 ※基本理念を実現させるための具体的な方向性を示すもの



**多様な人々が集う
新たな交流拠点としての活用**



周辺エリア全体の価値向上



**運営重視・民間活力を
最大限活用**

- 「みるスポーツ」に特化した施設機能
- まちのプレゼンス向上

- エンタメ体験も可能な施設機能
- まちのプレゼンス向上

- 市内外の多様な世代が利用できる機能や交流

- スポーツコンプレックス
- ウェルビーイング（シビックプライド・コミュニティ・サードプレイス）
- インクルーシブ

- スポーツを軸とした成長産業の集積（スポーツビジネス、ホスピタリティサービス、先端のデジタル技術）

- まちの回遊性、ウォーカブル
- フェーズフリー

- コスト縮減視点から収益の最大化視点による財政負担の低減

- 先端のデジタル技術による体験価値の提供、省エネ対応
- 育てる施設

基本計画の検討

整備コンセプト（案） ※施設における具体的な整備の方向性を示すもの

施設整備の視点

「みるスポーツ」の利用を軸とした多様な体験価値を提供できるアリーナ機能の整備

新たなまちの交流機能として、多様な世代による利用と活気で賑わうコンテンツや付帯機能の導入

まちづくりの視点

アリーナを核に周辺エリア全体の賑わい創出に向けた推進体制の構築

日常的に気軽に立ち寄ることができる機能や災害時でも地域の防災力の強化となる防災機能の導入

施設運営の視点

民間事業者による貸館以外の多様な収益事業を可能とする官民連携手法の採用

厚木ならではのコンテンツ創出に向けた異業種産業との共創ビジネスの推進体制の構築

参考：整備コンセプト（旧）

- 基本理念と基本方針を踏まえ、施設における具体的な整備の方向性を示す整備コンセプト（案）を作成しました。

過年度検討

基本理念 ※施設の根幹となる理想や考え方を示すもの

"ヒト・モノ・コトをつなぐハブ"（結節点）としての多目的アリーナ

基本方針 ※基本理念を実現させるための具体的な方向性を示すもの



**多様な人々が集う
新たな交流拠点としての活用**



周辺エリア全体の価値向上



**運営重視・民間活力を
最大限活用**

- 「みるスポーツ」に特化した施設機能
- まちのプレゼンス向上

- エンタメ体験も可能な施設機能
- まちのプレゼンス向上

- 市内外の多様な世代が利用できる機能や交流

- スポーツコンプレックス
- ウェルビーイング（シビックプライド・コミュニティ・サードプレイス）

- スポーツを軸とした成長産業の集積（スポーツビジネス、ホスピタリティサービス、先端のデジタル技術）

- まちの回遊性、ウォーカブル
- フェーズフリー

- コスト縮減視点から収益の最大化視点による財政負担の低減

- 先端のデジタル技術による体験価値の提供、省エネ対応
- 育てる施設

基本計画の検討

整備コンセプト（案） ※施設における具体的な整備の方向性を示すもの

施設整備の視点

「みるスポーツ」の利用を軸とした多様な体験価値を提供できるアリーナ機能の整備

新たなまちの集客機能として、多様な世代による利用や交流で賑わうコンテンツや付帯機能の導入

まちづくりの視点

アリーナを核に周辺エリア全体の賑わい創出に向けた推進体制の構築

日常的に気軽に立ち寄ることができる機能や災害時でも地域の防災力の強化となる防災機能の導入

施設運営の視点

民間事業者による貸館以外の多様な収益事業を可能とする官民連携手法の採用


厚木ならではのコンテンツ創出に向けた異業種産業との連携を強化するための推進体制の構築

案件(2) モデルプランの修正案について


(1) 第1回新たな交流拠点検討委員会専門部会でのご発言内容

- R8.2.12に開催した第1回新たな交流拠点検討委員会専門部会において、次のような発言があったことから、モデルプランについて修正します。

- 劇場音楽型のパターンにおいて、ホスピタリティエリアを舞台側に設け、コンサート利用の際は使わないという案はどうか。コンサート利用では、VIPエリアを使わないという意見を聞いている。
- コンサートではVIPエリアは持て余している状況である。通常、コンサートの際には舞台側に黒い幕をかけるため、特別な追加設備無しで対応可能だと思われる。

 **劇場音楽型のホスピタリティエリアの位置について再検討する。**

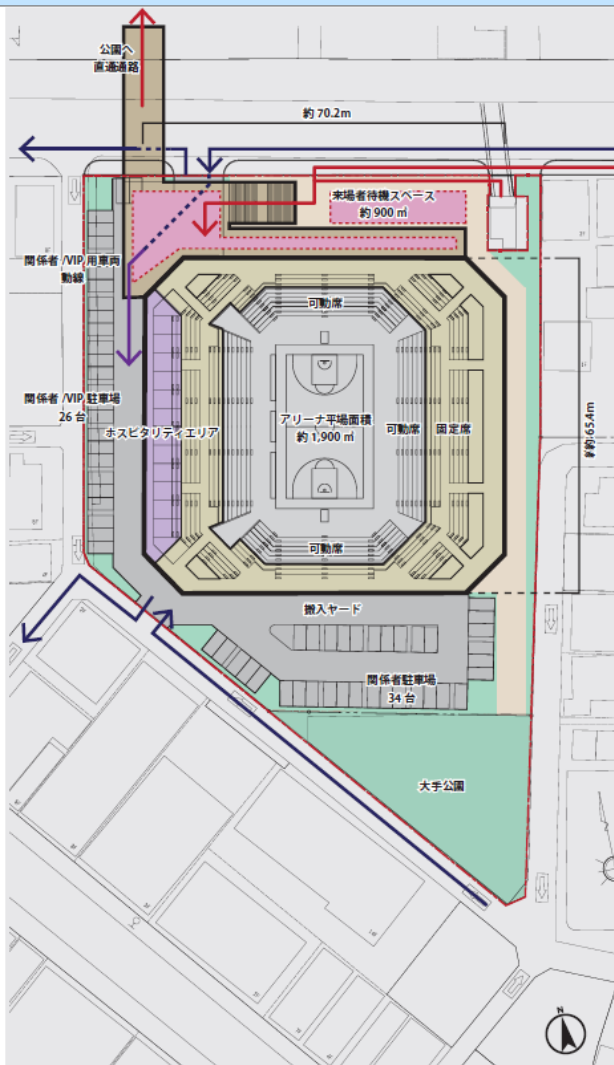
- 専門部会でモデルプランのパターンはある程度絞るのか、複数案のままとするのか決めておけば、議論において混乱は生じないと思料するがいかがか。
- 9つのモデルプランが提示されているが、厚木市としての方向性が示されておらず、曖昧に見える。南側エントランス案は良い配置ではなく、検討過程として残す程度で採用は不要だと考える。

 **モデルプランから南側エントランスは除外し、名称をアリーナの形状に合わせたものに変更する。**

(2) モデルプラン（修正案） | 平面図（北側エントランス案）

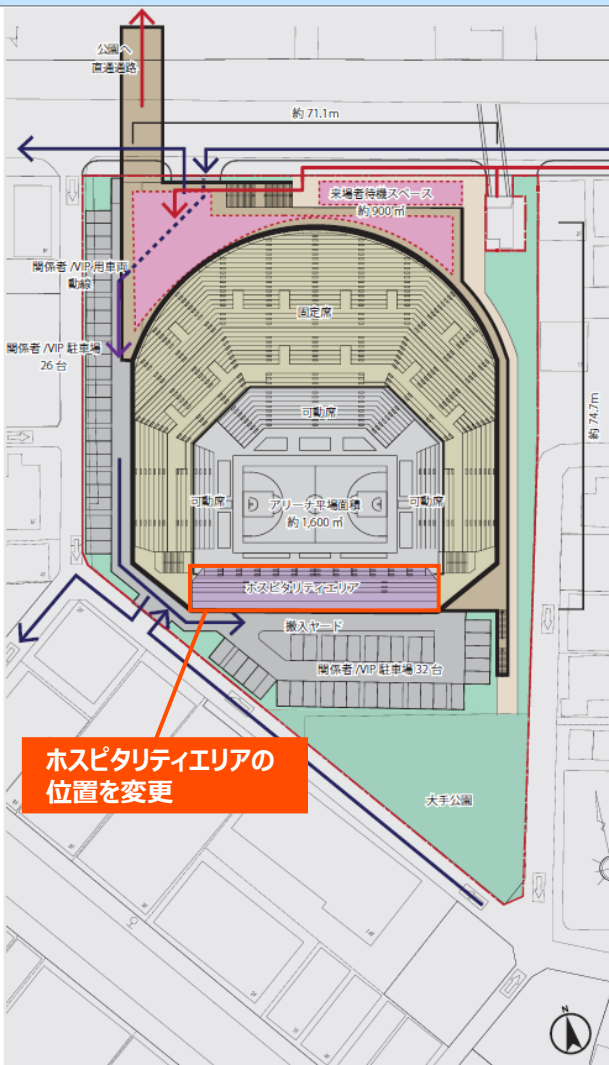
① 口型の客席形状アリーナ
（コンサート興行時は見切り席が一定数発生する）

3,000席・フロアサイズ1,900㎡



② 扇形の客席形状アリーナ
（コンサート興行時に発生する見切り席を削減できる）

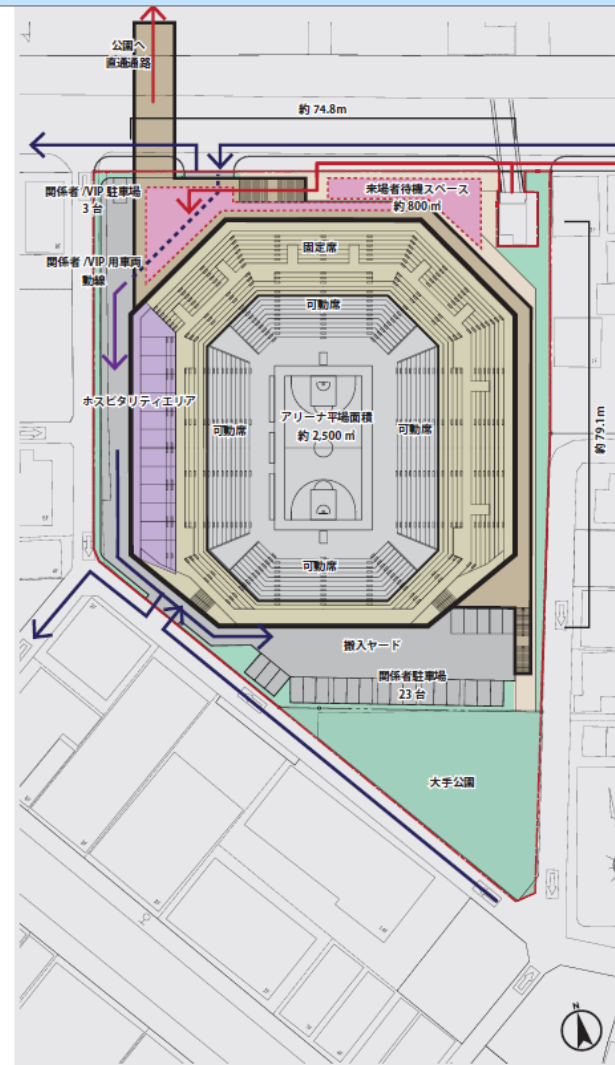
5,000席・フロアサイズ1,600㎡



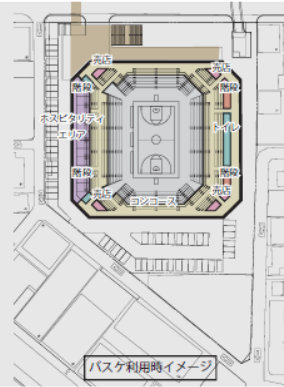
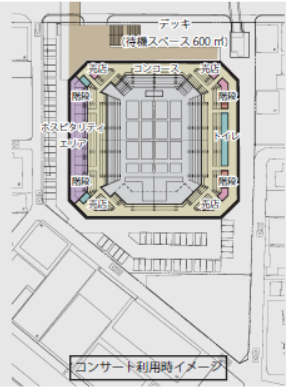
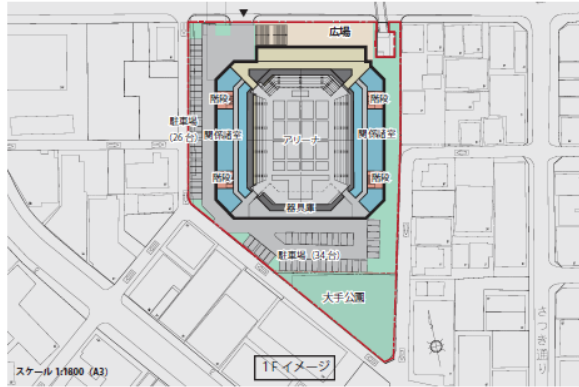
ホスピタリティエリアの
位置を変更

③ U型の客席形状アリーナ（①と②の折衷）

5,000席・フロアサイズ2,500㎡

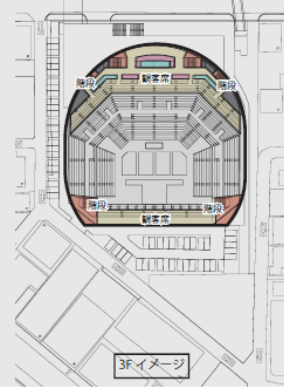
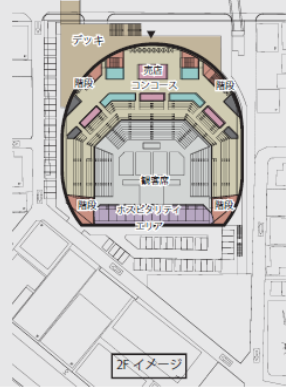
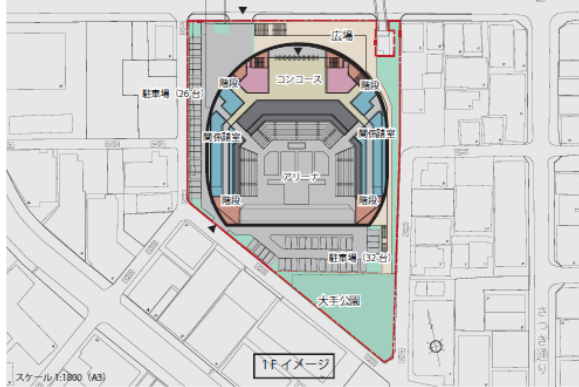


(2) モデルプラン（修正案） | 各階レイアウト図（北側エントランス案）



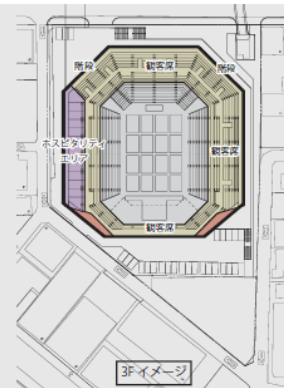
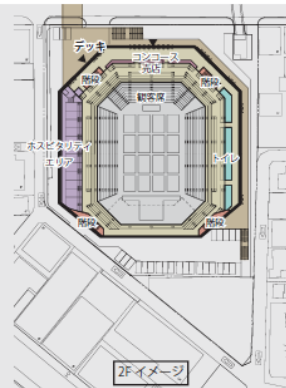
① 口型の客席形状アリーナ (フロアサイズ：約 1,900 ㎡)、客席形状：口型

延床面積		建築面積	
1階：	約 5,100 ㎡	約 5,100 ㎡ (デッキ含む)	
2階：	約 2,400 ㎡	建物高さ	約 20m
合計：	約 7,500 ㎡	駐車場台数	約 60台
客席数		ホスピタリティエリア	約 400 ㎡
可動席：	約 900 席	売店	約 60 ㎡
固定席：	約 1,100 席	コンサート利用時：	約 3,100 席
バスケットボール利用時：	約 3,200 席	バスケットボール利用時：	約 3,200 席
建ぺい率/容積率：58.7% (80%) / 86.3% (500%)			



② 扇形の客席形状アリーナ (フロアサイズ：約 1,600 ㎡)、客席形状：扇型

延床面積		建築面積	
1階：	約 5,000 ㎡	約 5,800 ㎡ (デッキ含む)	
2階：	約 3,200 ㎡	建物高さ	約 25m
3階：	約 1,700 ㎡	駐車場台数	約 58台
合計：	約 9,900 ㎡	ホスピタリティエリア	約 400 ㎡
客席数		売店	約 200 ㎡
可動席：	約 1,000 席	コンサート利用時：	約 4,800 席
固定席：	約 3,600 席	バスケットボール利用時：	約 5,000 席
バスケットボール利用時：	約 5,000 席	バスケットボール利用時：	約 5,000 席
建ぺい率/容積率：66.8% (80%) / 107.1% (500%)			

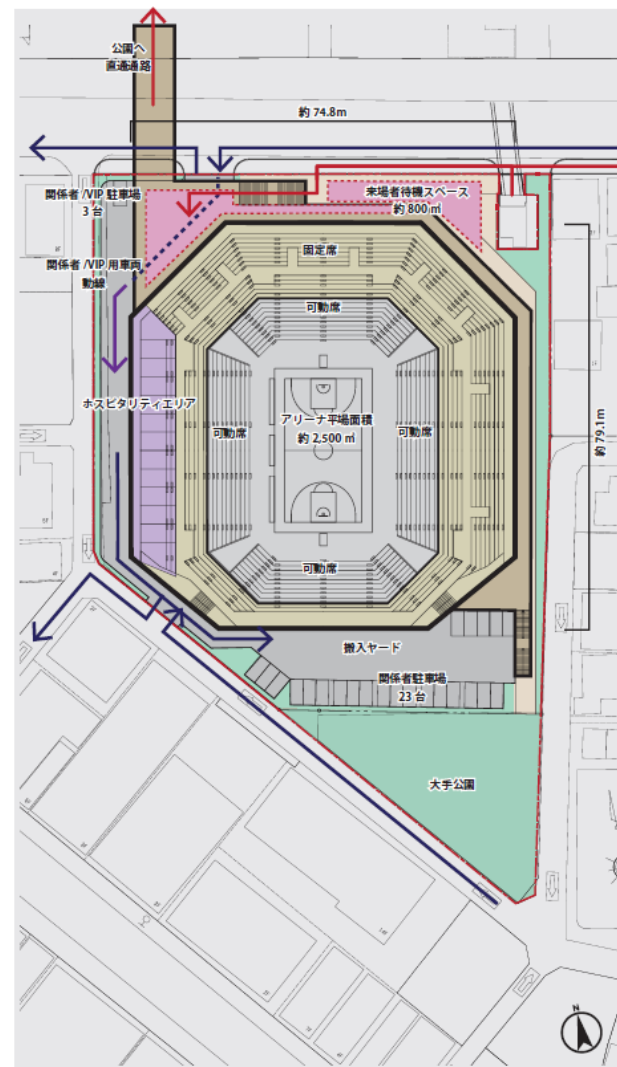
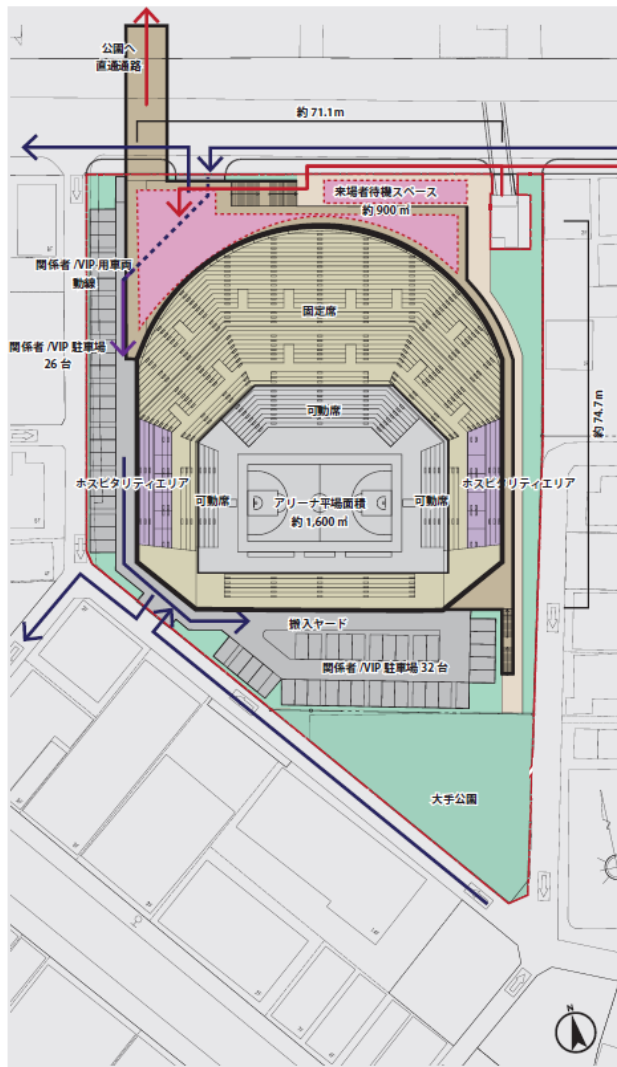
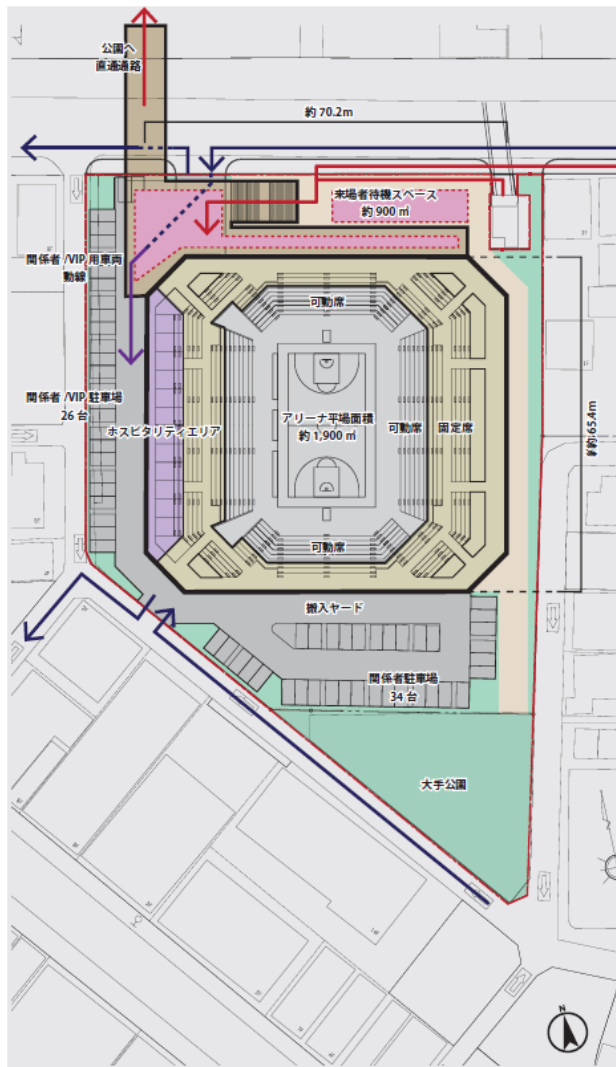


③ U型の客席形状アリーナ (フロアサイズ：約 2,500 ㎡)、客席形状：U型

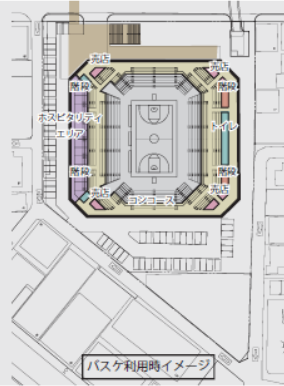
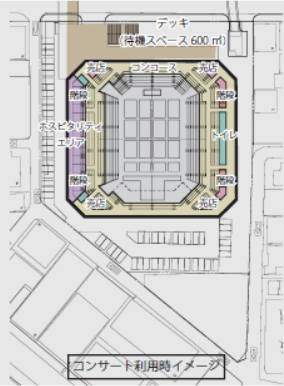
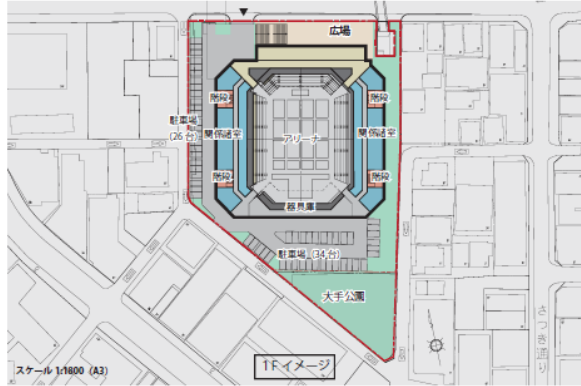
延床面積		建築面積	
1階：	約 5,900 ㎡	約 6,200 ㎡ (デッキ含む)	
2階：	約 3,000 ㎡	建物高さ	約 25m
3階：	約 1,300 ㎡	駐車場台数	約 26台
合計：	約 10,200 ㎡	ホスピタリティエリア	約 400 ㎡
客席数		売店	約 150 ㎡
可動席：	約 1,900 席	コンサート利用時：	約 5,200 席
固定席：	約 2,800 席	バスケットボール利用時：	約 5,100 席
バスケットボール利用時：	約 5,100 席	バスケットボール利用時：	約 5,100 席
建ぺい率/容積率：71.4% (80%) / 117.4% (500%)			

参考：旧モデルプラン（平面図）

①スポーツ利用特化型のアリーナ	②劇場音楽型のアリーナ	③スポーツ・音楽兼用型のアリーナ
3,000席・フロアサイズ1,900㎡	5,000席・フロアサイズ1,600㎡	5,000席・フロアサイズ2,500㎡

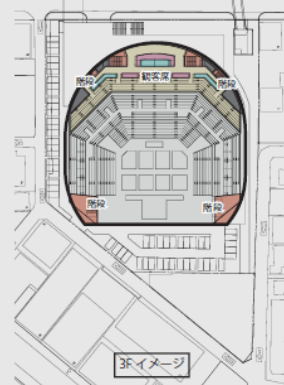
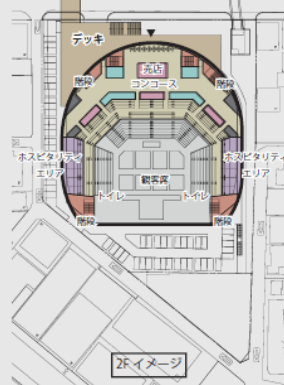
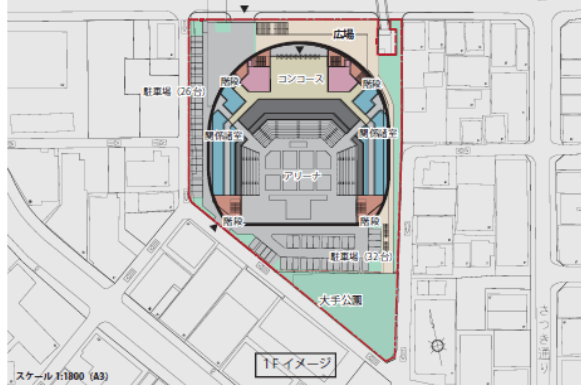


参考：旧モデルプラン（各階レイアウト図）



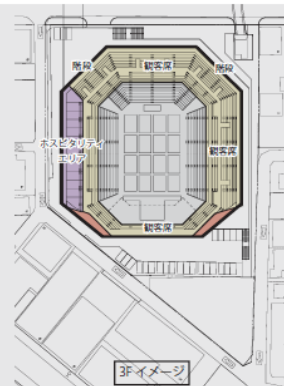
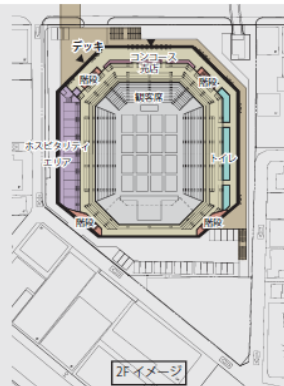
スポーツ利用特化型のアリーナ (フロアサイズ：約 1,900 m²)、客席形状：ロ型

延床面積		建築面積	
1階：	約 5,100 m ²	約 5,100 m ² (デッキ含む)	
2階：	約 2,400 m ²	建物高さ	約 20m
合計：	約 7,500 m ²	駐車場台数	約 60台
客席数		ホスピタリティエリア	
可動席：	約 900席	売店	約 60 m ²
固定席：	約 1,100席	コンサート利用時：	約 3,100席
コンサート利用時：	約 3,100席	バスケットボール利用時：	約 3,200席
バスケットボール利用時：	約 3,200席	建ぺい率/容積率：	58.7% (80%) / 86.3% (500%)



劇場型の多目的ホール (フロアサイズ：約 1,600 m²)、客席形状：扇型

延床面積		建築面積	
1階：	約 5,000 m ²	約 5,800 m ² (デッキ含む)	
2階：	約 3,000 m ²	建物高さ	約 25m
3階：	約 1,300 m ²	駐車場台数	約 58台
合計：	約 9,300 m ²	ホスピタリティエリア	約 400 m ²
客席数		売店	
可動席：	約 1,000席	約 200 m ²	
固定席：	約 3,500席	コンサート利用時：	約 5,200席
コンサート利用時：	約 5,200席	バスケットボール利用時：	約 5,000席
バスケットボール利用時：	約 5,000席	建ぺい率/容積率：	66.8% (80%) / 107.1% (500%)



兼用利用型の多目的ホール (フロアサイズ：約 2,500 m²)、客席形状：U型

延床面積		建築面積	
1階：	約 5,900 m ²	約 6,200 m ² (デッキ含む)	
2階：	約 3,000 m ²	建物高さ	約 25m
3階：	約 1,300 m ²	駐車場台数	約 26台
合計：	約 10,200 m ²	ホスピタリティエリア	約 400 m ²
客席数		売店	
可動席：	約 1,900席	約 150 m ²	
固定席：	約 2,800席	コンサート利用時：	約 5,200席
コンサート利用時：	約 5,200席	バスケットボール利用時：	約 5,100席
バスケットボール利用時：	約 5,100席	建ぺい率/容積率：	71.4% (80%) / 117.4% (500%)

案件(3) 年間利用日数の見込みについて

(1) 利用日数の想定 | パターン設定の考え方の更新

- 需要予測調査の結果を踏まえ、事業収支の検討に用いる利用日数パターンの考え方を第2回委員会資料から更新しました。

パターン		①保守パターン	②中庸パターン	③積極パターン	
興行イベント	プロスポーツ利用	本番日	<ul style="list-style-type: none"> 現在市内で開催されている利用 (<u>Bリーグ4試合、Vリーグ男子8試合、Tリーグ4試合、Hリーグ1試合</u>) 	<ul style="list-style-type: none"> Bリーグ及びVリーグによるホームアリーナ利用 (<u>Bリーグ15試合、SVG男子9試合</u>) <u>TリーグとリーグHの地方開催 (Tリーグ4試合、Hリーグ1試合)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> Bリーグ及びSVリーグによるホームアリーナ利用 (<u>Bリーグ25試合、SV男子17試合</u>) <u>TリーグとリーグHの地方開催 (Tリーグ4試合、Hリーグ1試合)</u>
		準備日	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上
	ライブエンタメ利用	本番日	<ul style="list-style-type: none"> 全国2,500~5,500人規模におけるアリーナ・体育館におけるライブエンタメ実績値の<u>中央値(2日)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 全国2,500~5,500人規模におけるアリーナ・体育館におけるライブエンタメ実績値の<u>平均値(5日)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 全国2,500~5,500人規模におけるアリーナ・体育館におけるライブエンタメ実績値の<u>平均値の2倍(10日)</u>
		準備日	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上
	その他、MICE等利用	本番日	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの展示会、企業展、就職セミナー等 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの展示会、企業展、就職セミナー等 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの展示会、企業展、就職セミナー等
		準備日	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上
非興行イベント	アマチュア文化利用	本番日	<ul style="list-style-type: none"> 成人式、既存文化系大規模FES 厚木中央公園でのイベント 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式、既存文化系大規模FES 厚木中央公園でのイベント 	<ul style="list-style-type: none"> 成人式、既存文化系大規模FES 厚木中央公園でのイベント
		準備日	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上
	アマチュアスポーツ利用	本番日	<ul style="list-style-type: none"> 大学スポーツ(全国大会や育成リーグ) プロレス、市民大会等 	<ul style="list-style-type: none"> 大学スポーツ(全国大会や育成リーグ) プロレス、市民大会等 	<ul style="list-style-type: none"> 大学スポーツ(全国大会や育成リーグ) プロレス、市民大会等
		準備日	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上	本番日の前後で+1日ずつ計上

参考 | 当市主催のイベントについて、屋内開催での利用が見込まれるイベントを把握

- 厚木中央公園で開催している既存イベントのうち、主に貴市主催（申請者）のイベントを一覧化しました。

団体名	公園等名称	行為の内容	行為日時	曜日	参加人員
環境事業課	厚木中央公園	市民ふれあいマーケット	3/8 8:00~16:00	土	500
公園緑地課	厚木中央公園	厚木市制70周年記念「第48回厚木市緑のまつり」	5/7 8:30~5/13 17:15	水~火	35,000
環境事業課	厚木中央公園	市民ふれあいマーケット	5/25 8:00-16:00	日	500
商業観光課	厚木中央公園	第79回あつぎ鮎まつり	7/28~8/8 9:00~17:00	月~金	1,000
企画政策課	厚木中央公園	2025 夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会実施	8/11~8/12 9:00~12:00	月~火	700
日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会	厚木中央公園	第53回神奈川ブロック大会 厚木大会	9/1~9/8 7:00~17:00	月~月	15,000
環境事業課	厚木中央公園	市民ふれあいマーケット	9/21 8:00~16:00	日	500
スポーツ魅力創造課	厚木中央公園	市制70周年記念あつぎアーバンスポーツフェスティバル	9/24~9/28 11:00~19:00	水~日	10,000
環境政策課	厚木中央公園	2025あつぎ環境フェア	10/25~10/26 7:00~23:00	土~日	3,000
文化魅力創造課	厚木中央公園	市制70周年記念事業「第10回あつぎミュージックフェスティバル」準備及び開催のため	10/29 7:00~11/3 23:00	水~月	4,500
環境事業課ゴミ減量化・資源化担当係	厚木中央公園	市民ふれあいマーケット	11/16 8:00~16:00	日	500
商業観光課	厚木公園、中央公園、中町花の公園、南口記念碑、中町公園	市制70周年記念にぎわい爆発あつぎ国際大道芸2025	11/5~11/12 9:00~17:00	水~水	1,000
神奈川よさこいまつり実行委員会	厚木中央公園・厚木公園	神奈川よさこいまつり	11/20・11/21 9:00~20:00 11/23・11/24 8:00~21:00	木~日	1,700
商業観光課	厚木中央公園	あつぎウィンターフェスティバル	11/22~R8.1/12 9:00~21:00	日~月	3,000
消防本部警防課	厚木中央公園	R7年度歳末火災特別警戒に伴う市長激励	12/27 17:30~19:30	土	100

出所 | 令和7年の利用実績（厚木市提供）

(2) 貸館収入の試算の考え方

- 貸館収入は、年間利用日数の想定に基づき、①保守パターン、②中庸パターン、③積極パターンの3パターンを採用し、幅のある形で試算します。
- 各パターンの貸館収入の試算に当たっては、各種利用内容ごとの日数に、対応する利用料金単価の設定値を掛け合わせて、年間の貸館収入の合計値を算出します。



(3) 利用日数の設定 | ①保守パターン

- ①保守パターンでは、平日の稼働日数は22日（9.2%）、土日祝の稼働日数は50日（42.0%）、合計の稼働日数は72日（20.1%）と試算されました。

利用内容			利用日数			根拠
			平日	土日祝	合計	
興行 イベント	プロスポーツ 利用	本番日	0	17	17	現在市内で開催されている利用（Bリーグ4試合、Vリーグ8試合、Tリーグ4試合、Hリーグ1試合）※1
		準備日	11	11	22	想定値（本番日前後1日ずつ、Bリーグ・SV/Vリーグは2日連続開催のため、2日ごと前後1日ずつ計上）
	ライブエンタメ 利用	本番日	0	2	2	全国2,500～5,500人規模におけるアリーナ・体育館におけるライブエンタメ実績値の中央値（2日）※2
		準備日	2	2	4	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
	その他、 MICE利用	本番日	0	1	1	国内都市別「中・大型」国際会議開催件数／日本政府観光局の実績値（1日）
		準備日	1	1	2	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
非興行 イベント	アマチュア 文化利用	本番日	0	4	4	成人式、あつぎミュージックフェスティバル（2日）、あつぎジャズナイト、にぎわい爆発あつぎ国際大道芸
		準備日	4	4	8	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
	アマチュア スポーツ利用	本番日	0	4	4	大学スポーツ（バスケットボールリーグ）、プロレス（既存の市内イベント）、市民大会（バスケット、卓球）※3
		準備日	4	4	8	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
合計			22	50	72	※1：各種プロスポーツレギュレーション及び実績値より ※2：ライブエンタメ白書より ※3：大学スポーツ団体、市内競技団体へのアンケート・ヒアリング結果より ※4：営業日は、年末年始（6日間）を除く359日と想定
年間稼働率※4			9.2%	42.0%	20.1%	

(3) 利用日数の設定 | ②中庸パターン

- ②中庸パターンでは、平日の稼働日数は46日（19.2%）、土日祝の稼働日数は83日（69.7%）、合計の稼働日数は129日（35.9%）と試算されました。

利用内容			利用日数			根拠
			平日	土日祝	合計	
興行 イベント	プロスポーツ 利用	本番日	3	26	29	Bリーグ及びVリーグによるホームアリーナ利用（Bリーグ15試合、SVG9試合）、TリーグとリーグHの地方開催（Tリーグ4試合、Hリーグ1試合）※1
		準備日	29	29	58	想定値（本番日前後1日ずつ、Bリーグ・SV/Vリーグは2日連続開催のため、2日ごと前後1日ずつ計上）
	ライブエンタメ 利用	本番日	0	5	5	全国2,500～5,500人規模におけるアリーナ・体育館におけるライブエンタメ実績値の平均値(5日)※2
		準備日	5	5	10	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
	その他、 MICE利用	本番日	0	1	1	国内都市別「中・大型」国際会議開催件数／日本政府観光局の実績値（1日）
		準備日	1	1	2	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
非興行 イベント	アマチュア 文化利用	本番日	0	4	4	成人式、あつぎミュージックフェスティバル（2日）、あつぎジャズナイト、にぎわい爆発あつぎ国際大道芸
		準備日	4	4	8	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
	アマチュア スポーツ利用	本番日	0	4	4	大学スポーツ（バスケのデベロップメントリーグ）、プロレス（既存の市内イベント）、市民大会（バスケ、卓球）※3
		準備日	4	4	8	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
合計			46	83	129	※1：各種プロスポーツレギュレーション及び実績値より ※2：ライブエンタメ白書より ※3：大学スポーツ団体、市内競技団体へのアンケート・ヒアリング結果より ※4：営業日は、年末年始（6日間）を除く359日と想定
年間稼働率※4			19.2%	69.7%	35.9%	

(3) 利用日数の設定 | ③積極パターン

- ③積極パターンでは、平日の稼働日数は79日（32.9%）、土日祝の稼働日数は119日（100%）、合計の稼働日数は198日（55.2%）と試算されました。

利用内容			利用日数			根拠
			平日	土日祝	合計	
興行 イベント	プロスポーツ 利用	本番日	11	36	47	Bリーグ及びSVリーグによるホームアリーナ利用（Bリーグ25試合、SV17試合）、TリーグとリーグHの地方開催（Tリーグ4試合、Hリーグ1試合）※1
		準備日	47	47	94	想定値（本番日前後1日ずつ、Bリーグ・SV/Vリーグは2日連続開催のため、2日ごと前後1日ずつ計上）
	ライブエンタメ 利用	本番日	0	10	10	全国2,500～5,500人規模におけるアリーナ・体育館におけるライブエンタメ実績値の平均値の2倍(10日)※2
		準備日	10	10	20	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
	その他、 MICE利用	本番日	0	1	1	国内都市別「中・大型」国際会議開催件数／日本政府観光局の実績値（1日）
		準備日	1	1	2	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
非興行 イベント	アマチュア 文化利用	本番日	0	4	4	成人式、あつぎミュージックフェスティバル（2日）、あつぎジャズナイト、にぎわい爆発あつぎ国際大道芸
		準備日	4	4	8	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
	アマチュア スポーツ利用	本番日	1	3	4	大学スポーツ（バスケのデベロップメントリーグ）、プロレス（既存の市内イベント）、市民大会（バスケ、卓球）※3
		準備日	5	3	8	想定値（本番日前後1日ずつ計上）
合計			79	119	198	※1：各種プロスポーツレギュレーション及び実績値より ※2：ライブエンタメ白書より ※3：大学スポーツ団体、市内競技団体へのアンケート・ヒアリング結果より ※4：営業日は、年末年始（6日間）を除く359日と想定
年間稼働率※4			32.9%	100%	55.2%	

(3) 利用日数の設定 | 各パターンのまとめ

- 貸館収入の算出に当たっては、以下の利用日数を用います。

利用内容			①保守パターン			②中庸パターン			③積極パターン		
			A. 3,000人/B. 5,000人			5,000人			5,000人		
			平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
興行	プロスポーツ利用	本番日	0	17	17	3	26	29	11	36	47
		準備日	11	11	22	29	29	58	47	47	94
	ライブエンタメ利用	本番日	0	2	2	0	5	5	0	10	10
		準備日	2	2	4	5	5	10	10	10	20
	その他MICE利用	本番日	0	1	1	0	1	1	0	1	1
		準備日	1	1	2	1	1	2	1	1	2
非興行	アマチュアスポーツ利用	本番日	0	4	4	0	4	4	0	4	4
		準備日	4	4	8	4	4	8	4	4	8
	アマチュア文化利用	本番日	0	4	4	0	4	4	1	3	4
		準備日	4	4	8	4	4	8	5	3	8
合計			22	50	72	46	83	129	79	119	198
年間稼働率			9.2%	42.0%	20.1%	19.2%	69.7%	35.9%	32.9%	100%	55.2%

参考 | 各種プロスポーツのホームゲームの開催日数

第2回委員会資料から最新版に更新

- スポーツ利用の日数は、ホームアリーナ比率はレギュレーションの最低基準を、土日祝の比率は市内開催クラブまたは近隣クラブの直近シーズンの実績を用いています。

リーグ		ホームゲーム開催日数（目安）					アリーナ確保に関する レギュレーション項目	
		総数	ホームアリーナ		ホームアリーナ以外			
			平日	土日祝	平日	土日祝		
Bリーグ（バスケットボール） レギュラーシーズン	Bプレミア	30	11	14	2	3	・ ホームゲームの80%以上をホームアリーナで開催	
	Bワン	30	3	15	1	9	・ ホームゲームの60%以上をホームアリーナで開催	
	Bネクスト	24	3	12	0	11	・ ホームゲームの60%以上をホームアリーナで開催	
レギュレーション等		2026-27シーズン B.PREMIER、B.ONE、B.NEXTクラブライセンス交付規則、 横浜ビー・コルセアーズ2026-27日程、横浜エクセレンス2026-27日程、湘南ユナイテッドBC2025-26日程						
リーグH（ハンドボール） レギュラーシーズン	男子	13	5	6	0	2	・ 原則 8 割の試合をホームアリーナで実施。やむを得ない事情がある場合には 6 割でも可	
	女子	10	2	6	0	2		
レギュレーション等		リーグH新規加盟要項、ジークスター東京2025-26日程、ブルーサキャ鹿児島2025-26日程						
SV・Vリーグ※1 （バレーボール） レギュラーシーズン	SVリーグ	男子	22	0	17	5	0	・ ホームゲームの80%以上をホームアリーナで開催
		女子	19	1	15	0	3	
	SVグロース （SVG）	男子	14	0	9	0	5	・ ホームゲームの60%以上をホームアリーナで開催
		女子	14	0	9	0	5	
	Vリーグ	男子	12	0	8	0	4	・ レギュレーションなし。 ・ SVGと同等とし、60%をホーム開催とする。
		女子	12	0	8	0	4	
レギュレーション等		2026-27シーズン クラブSV・SVGライセンス判定結果（第1回）、クラブSVライセンス交付規則、 NECレッドロケッツ川崎2025-26日程、東京グレートベアーズ2025-26日程、ブレス浜松2025-26日程 富士通カワサキレッドスピリッツ2025-26日程、						
Tリーグ（卓球）※2 レギュラーシーズン	男子	12	0	2	0	10	・ レギュレーションに条件の記載なし。	
	女子	12	0	2	0	10	・ レギュレーションに条件の記載なし。	
レギュレーション等		Tリーグ規約・規定集、木下アビエル神奈川2025-26日程、木下マイスター東京2025-26日程						

※1：SVGはチーム数未確定、Vリーグは実績なしのため仮置き ※2：Tリーグは複数のホームアリーナの設定が可能

参考 | 音楽・ステージ公演開催実績

- ライブエンタメ白書より、2,500～5,500人規模の会場における2024年1月～12月の音楽・ステージ公演開催実績を集計しました。

名称	収容人数	開催日数	名称	収容人数	開催日数	名称	収容人数	開催日数
ホール・劇場・ライブハウス	平均値：123.3 中央値：107.0		アスティとくしま多目的ホール	5,000	8	国立代々木競技場 第二体育館	4,037	5
愛知県芸術劇場大ホール	2,500	139	沖縄コンベンションセンター 大展示棟	5,000	5	愛知工業大学体育館	4,100	1
大宮ソニックシティ 大ホール	2,505	141	京都市勧業館「みやこめっせ」 第3展示場	5,000	1	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム	4,485	3
Z e p p N a m b a	2,513	222	パシフィコ横浜国立大ホール	5,002	144	高知県立県民体育館 主競技場	4,644	2
宝塚大劇場	2,550	364	東京国際フォーラムA	5,012	103	富山市総合体育館	4,650	1
大阪フェスティバルホール	2,700	269	アリーナ・体育館	平均値：5.3 中央値：2.0		グリーンアリーナ神戸	4,852	2
グランキューブ大阪メインホール	2,754	79	新横浜スケートセンター	2,500	23	J T A ドーム宮古島	5,000	1
Z e p p O s a k a B a y s i d e	2,801	258	青森市総合体育館 メインアリーナ	2,598	2	シーハットおおむら メインアリーナ	5,000	2
Z e p p H a n e d a (T O K Y O)	2,925	335	春日井市総合体育館	2,920	2	横浜 B U N T A I	5,000	42
愛媛県県民文化会館 メインホール (旧ひめぎんホール)	3,000	22	横浜武道館	3,000	6	函館アリーナ	5,000	2
神戸ポートピアホテル 大輪田の間	3,000	1	藤沢市秋葉台文化体育館	3,000	1	由利本荘総合防災公園ナイスアリーナ メインアリーナ	5,000	8
河口湖ステラシアター	3,003	24	松江市総合体育館	3,003	4	盛岡タカヤアリーナ	5,058	5
名古屋国際会議場センチュリーホール	3,012	138	アリーナ立川立飛	3,275	1	野外・公園 平均値：29.5 中央値：26.0		
T A C H I K A W A S T A G E G A R D E N	3,018	183	リージョンプラザ上越 インドアスタジアム	3,468	2	熊本グリーンランド レインボードーム	2,500	50
チームスマイル豊洲PIT	3,103	241	ダイドードリンコアイスアリーナ	3,500	6	山形県総合運動公園 野球場	2,624	1
T O K Y O D O M E C I T Y H A L L	3,190	288	岡山市総合文化体育館	3,500	1	大阪城野外音楽堂	3,002	50
天然色劇場	3,500	1	島根県立浜山公園 浜山体育館カミアリーナ	3,552	1	京都市円山公園音楽堂	3,010	1
N H K ホール	3,742	107	T I P S T A R D O M E C H I B A	4,000	1	日比谷公園野外大音楽堂	3,119	73
キラメッセぬまづ 多目的ホール	4,620	6	片柳アリーナ	4,000	4	男鹿市船川港内特設ステージ	4,750	2
グランシップ大ホール・海	4,626	1	ゼビオアリーナ仙台	4,009	11			
京都パルスプラザ 大展示場	4,750	2						

参考 | 開業準備業務（興行の誘致活動）の事例調査

第3回委員会資料の再掲

事例調査概要

- 官民連携でアリーナ又はMICE施設を整備した事例のうち、開館（開業）準備業務に興行誘致活動が含まれる事例を収集整理しました。

	施設名	施設所有	開業時期	施設規模	事業手法	開業準備業務・興行誘致に関するポイント
事例①	愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)	愛知県	2019年8月	延床面積： 約90,000㎡ うち展示面積： 約60,000㎡	<ul style="list-style-type: none"> コンセッション方式・独立採算による運営。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営者にMICE施設運営及び催事主催者とのリレーションを持つ事業者が含まれており、催事の誘致や開催支援を実施。 利用料金案・利用規約案の作成や広報、事前誘致等の業務を運営事業者が担う。 官民連携組織による地域プロモーションや催事開催支援等も実施。
事例②	有明アリーナ	東京都	2020年2月	延床面積： 47,200㎡ メインアリーナ： 4,100㎡	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020五輪を機に整備。大会後はコンセッション方式にて運営。 	<ul style="list-style-type: none"> 大手広告代理店や、国内・国外それぞれのアーティスト・イベント誘致を得意とする事業者を体制に含める。 エリアマネジメントを担う事業者を体制に含める。
事例③	横浜文化体育館再整備 (横浜 BUNTAI)	横浜市	2024年4月	延床面積： 15,463㎡ アリーナ： 2,531㎡	<ul style="list-style-type: none"> PFI-BTO方式による再整備事業。（負担付寄附） 	<ul style="list-style-type: none"> 興行事業誘致に対応するため、大手広告代理店や、イベント誘致を得意とする事業者を体制に含める。 地元メディアや周辺の類似施設である横浜アリーナ等も協力体制に含め、大会・興行の誘致を行う。 周辺の市有地について、定期借地契約や土地売買契約による民間収益事業の実施によるにぎわい創出を促す。

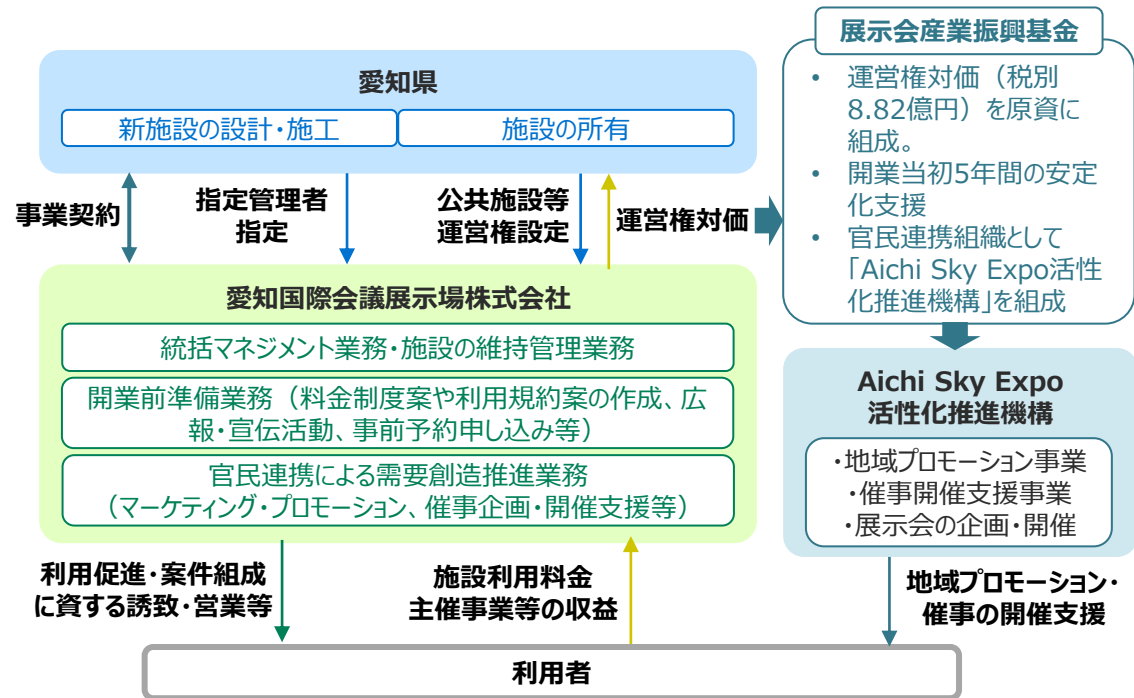
事例① 愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)

- 愛知県は、コンセッション方式にて、愛知県国際展示場の運営を民間に委ねている。運営者は、大手MICE事業者やコンセッション事業の実績を有する建設企業等から構成される愛知国際会議展示場株式会社です。
- 開業前準備業務は、利用料金案・利用規約案の作成や広報、事前誘致等の業務を運営事業者が担っています。
- 運営権対価を原資に、展示会産業振興基金を組成。基金を活用して県と運営会社でAichi Sky Expo活性化推進機構を設置し、官民連携で地域プロモーション、催事開催支援等を行っています。

施設概要

所在地	愛知県常滑市セントレア5丁目
開業開始	2019年8月
敷地面積	28.7ha
延床面積	約90,000㎡ (うち展示面積約60,000㎡)
主な諸室	展示ホールA～F (各10,000㎡) 会議室18室
事業手法	設計・施工：DB 運営：コンセッション方式
事業期間	運営：15年間
事業者	運営：愛知国際会議展示場株式会社 (GL events SA、前田建設工業株式会社、株式会社KSAインターナショナル)

事業イメージ



出所：愛知県国際展示場コンセッション募集要項及び添付資料
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001327166.pdf>

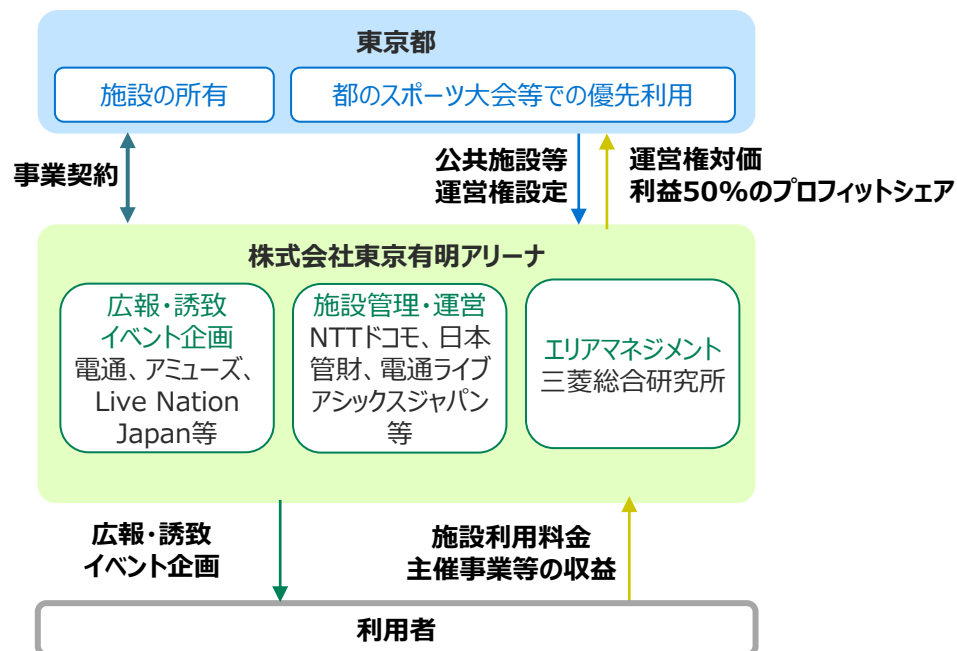
事例② 有明アリーナ

- 東京都は、五輪後の有明アリーナの運営をコンセッション方式にて民間事業者に委ねています。
- 独立採算方式で、公共施設等運営権対価の他、運営権対価支払後の税引前当期純利益の50%の金額を都に支払う。都は、スポーツ利用期間を年間60日程度確保することを事業条件としています。
- 複数のイベント誘致に長けた事業者や運営企業が、2019年4月から事前営業を行い、コンテンツを獲得しています。

施設概要

所在地	東京都江東区有明1丁目11番1号
開業開始	2020年2月
敷地面積	36,576㎡
延床面積	延床面積：47,200㎡
主な諸室	メインアリーナ（約4,100㎡）、サブアリーナ（約1,400㎡）、スポーツジム・スタジオ、レストラン等
事業手法	コンセッション方式（公共施設等運営権）
事業期間	25年
事業者	株式会社東京有明アリーナ （電通グループ、NTTドコモ、日本管財、アミューズ、Live Nation Japan、電通ライブ、アシックススポーツファシリティーズ等）

事業イメージ



出所：<https://ariake-arena.tokyo/organizer/facilities/>
https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijyunbi/taikai/kaijyou/kaijyou_07/ariakearena_kanri/index.html
<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/dc9548f1c34812ea21c20403a02fe1d5.pdf>

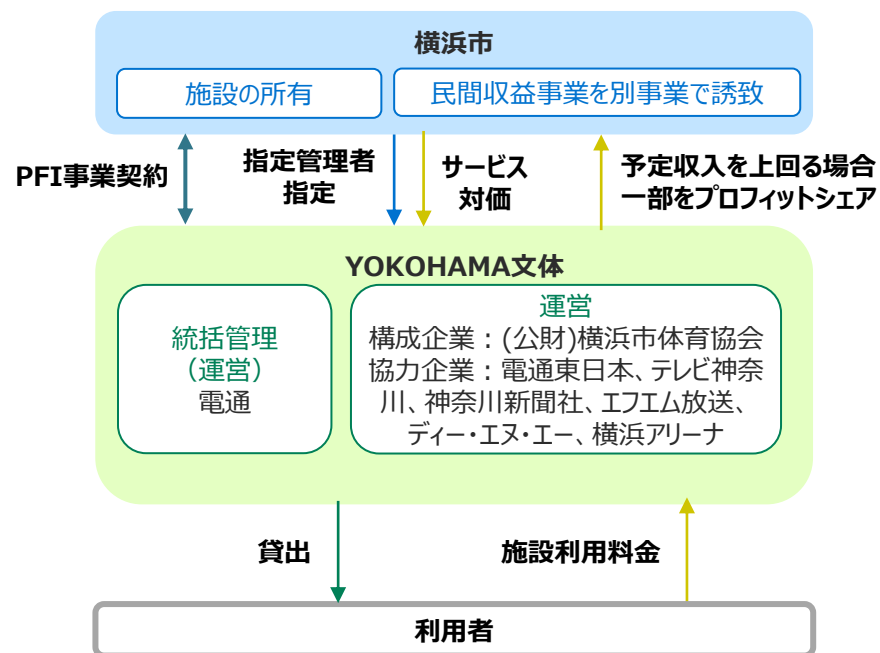
事例③ 横浜文化体育館再整備（横浜BUNTAI）

- 横浜文化体育館再整備事業は、PFI事業により実施されている。
- 運営においては、PFI事業者がサービス購入費と利用料金収入で施設を管理・運営する。
- PFI事業とは別に、民間収益事業を実施し、周辺のにぎわい創出を実施。

施設概要

所在地	神奈川県横浜市中区翁町2丁目9-10
開業開始	2024年4月
敷地面積	10,057㎡
延床面積	15,463㎡
主な諸室	アリーナ(2,531㎡)、体育室(約691㎡)、カフェ・ショップ
事業手法	PFI（BTO方式）
事業期間	20年
事業者	株式会社YOKOHAMA文体 (フジタ、電通、梓設計、大成建設、馬淵建設、渡辺組、川本工業、(公財)横浜市体育協会、日本管財、スターツコーポレーション) 運営業務の協力企業：電通東日本、テレビ神奈川、神奈川新聞社、エフエム放送、ディー・エヌ・エー、横浜アリーナ

事業イメージ

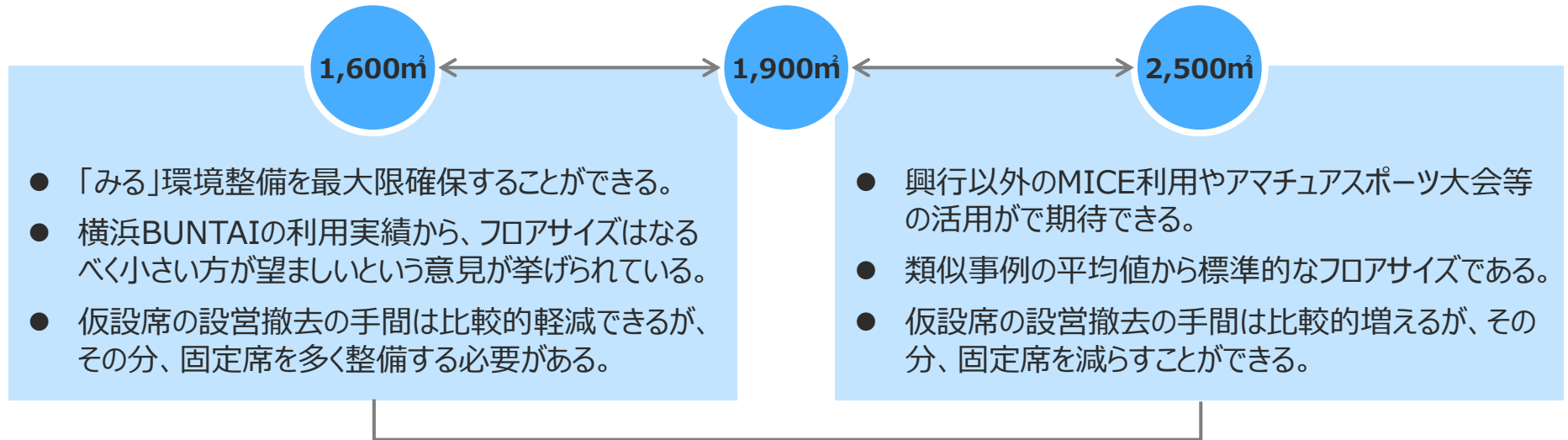


出所：https://www.mext.go.jp/sports/content/20210916-spt_sposeisy-000014230_3.pdf
横浜文化体育館再整備事業実施方針、横浜文化体育館再整備事業落札者の決定に関する報告書

案件(4) フロア面積規模の設定

(1) フロア面積規模に関する論点

- 本アリーナ施設に整備するフロアサイズについて、事例や基準等から3パターンの面積規模を設定してきました。
- これらの面積規模について、**利用用途の視点から最低限の面積規模を要件設定（要求水準）することが論点**になります。
- 「みる」環境整備においては、観戦環境を充実させるとともに体験価値の最大化を図るため、フロアサイズは最小限にすることが望ましいですが、他方でプロスポーツ興行や音楽コンサート興行以外のMICE利用やアマチュアスポーツ大会等を開催する場合は、なるべく競技面積を確保するためにフロアサイズを最大化することが必要となります。



論点整理のポイント

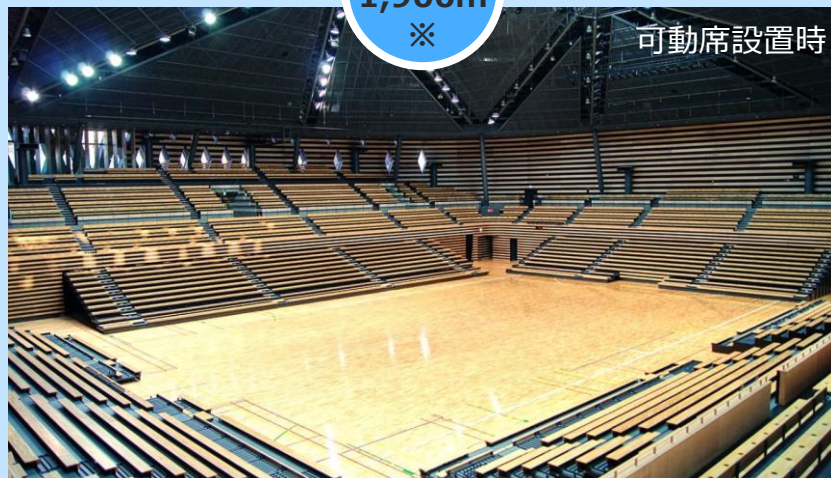
- 民間事業者の提案（民間事業者が誘致する利用用途の内容や規模）によってフロア面積は異なるため、民間事業者の提案の制限にならないよう、フロア面積の下限值を要件設定する方向が考えられる。

参考 | フロア面積の事例

①
1,600㎡

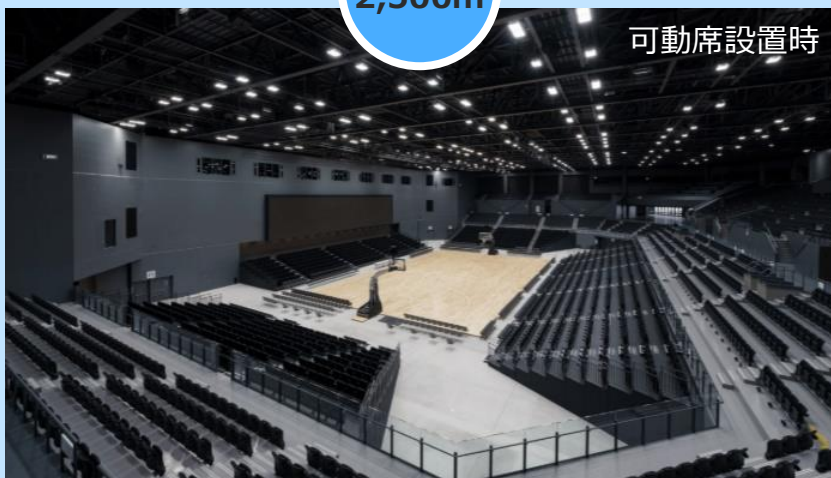


②
1,900㎡
※



※1,824㎡

③
2,500㎡



No	施設名	規模	出所
①	立川立飛アリーナ	約55.3m ×約28.2m	立川立飛アリーナ公式ホームページ (https://www.arenatachikawatachihi.com/guide/facilities/)
②	大田区総合体育館	約48m ×約38m	大田区総合体育館公式ホームページ (https://www.ota.esforta.jp/facility/mainarena/)
③	横浜BUNTAI	約63m ×約40m	横浜BUNTAI公式ホームページ (https://yokohama-buntai.jp/)